



ひなた新聞54号



・指定収集袋のばら売りとレジ袋としての利用について

昨年6月定例会で一般質問において要望しました指定収集袋（10枚1セット）のばら売りについて、実証実験が5月10日に開始されました。販売店舗は市役所本庁舎4階と鎌倉駅前のコンビニの1店舗とのことです。



今回の一般質問では、ばら売り販売店舗の拡大と指定収集袋をレジ袋として利用できるよう求めました。指定収集袋のばら売りが可能になることで必要な時に1枚単位で買えることになり、レジ袋の代わりに利用できるようなれば、マイバッグを忘れた時や収納しきれない場合に購入し、その袋を使って燃やすごみ等の排出に使用できます。

腰越保育園新園舎がスタート

腰越保育園の建て替えと子育て支援センターとの併設に向けて、これまで取り組んでまいりましたが、今年4月から新園舎でスタートしました。また、子育て支援センターも併設され、市内5地域すべてに子育て支援センターを開設することができました。

なお、腰越行政センターで開設していました「つどいの広場」は腰越地区社会福祉協議会の事業として週2回、継続して実施していきます。



戸別収集、来年4月から先行実施

6月定例会で戸別収集に関する予算が可決され、令和7年4月から市内一部地区の約1万世帯（現在選定中）を、令和8年4月から全市を対象に「燃やすごみ」の戸別収集を実施することになりました。戸別収集実施に向けて一般質問を含め議会で要望をしてまいりましたが、大きな一歩を踏み出すことができました。クリーンステーション収集における課題解決（動物被害・維持管理負担など）だけでなく、市民のごみ出し労力が削減され、市民サービスの向上につながります。最終的には全品目戸別収集を目指し、引き続き取り組んでまいります。



鎌倉市議会議員

ひなた慎吾 活動レポート



1983年 6月 9日 生まれ（41歳）

モンタナ幼稚園→腰越小学校→腰越中学校→鎌倉高校
→日本大学卒業

IT 企業へ就職後、2013年 29歳で鎌倉市議会議員初当選。

2017年 2期目の当選。2021年 3期目の当選。腰越在住。

〈現在〉市民環境常任委員会委員、議会運営委員会委員長



6月定例会のご報告

●一般質問

「本庁舎等整備について」

「指定収集袋のばら売りとレジ袋としての利用について」

●陳情審査

新庁舎整備の推進を求める陳情5件が提出され、審査しました結果、すべての陳情が賛成多数で採択されました。私たち会派「夢みらい鎌倉」は、新庁舎整備は喫緊の課題と捉えており、陳情につきまして賛成をしました。現在地の利活用も含めて、移転して整備する理由・必要性とともに、反対としてあげられてきた意見とそれに対する市の対応や見解をもっと市民に示し、知っていただくことが必要と考えております。そのような点からも、今回の一般質問で本庁舎整備について取り上げ、議論いたしました。

●一般会計補正予算

「戸別収集事業開始に向けた費用」「名越中継施設整備に係るレッドゾーン対策の調査経費」「災害対応搬送車購入経費」などが提案され、賛成多数で可決となりました。



一般質問録画



審査内容

・本庁舎等整備について

5月25日に熊本県宇土市の元松市長の講演会を拝聴しました。宇土市は熊本地震の際に本庁舎が被災してしまったことにより、災害対応に遅れが生じるとともに、市の業務機能も一時的に停止してしまいました。

本庁舎が被災したことにより、住民からの電話が受けられず、どこかに移そうとしても庁舎の機能を受け入れられる施設はなく、電話回線は1本だけ引けたが、県からの電話も受けられず、メールもつながらない状態だったそうです。

災害はいつ起きるかわかりません。熊本地震は、約30年の地震発生確率が1%未満の確率の中で発生しました。市役所が機能なくなると市民へ確実に大きな影響を及ぼしてしまいます。鎌倉市がそういった事態をさけるため、災害に強い本庁舎の整備は待ったなしであります。



Q

現在、災害時に災害対応の拠点となる災害対策本部がある分庁舎は新耐震基準で建設されているが、なぜ本庁舎を建替えなければならないのか。

答弁



発災時にも確実に使用できる庁舎内の環境を整えておくことが肝要で、災害対策本部室のみが安全であれば良いものではなく、新庁舎全体が災害対応の拠点となるよう整備する。

Q

現在の本庁舎のIs値(耐震指標)は0.6であるが、施設全体を災害時の拠点としての活用を想定し、Is値0.9を目指す根拠はなにか。

答弁



本庁舎は、大地震動発生時に「建物の崩壊等によって死傷者が発生することはない」といった最低限の基準を満たすだけでなく、災害時にも安定的に業務を継続する必要があり、国の基準を準用して、Is値0.6の1.5倍であるIs値0.9相当で整備することとしている。

腰越クリーン&ガーデニング大作戦

毎月第3土曜日 7時30分～8時30分(腰越駅集合) 意見交換会を行っております。

腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と



Q

市庁舎の整備については公共施設再編の面からも重要であり、これを進めないことは市全体への影響も大きいと考えるがいかがか。

答弁



新庁舎整備や市庁舎現在地の利活用において、複合化・集約化が進まない場合は、老朽化した公共施設の更新が進まず、仮に個々に更新するとすれば、施設建設コストや維持管理コストが大幅に増加し、次世代に過大な負担を残すことになる。

Q

移転した後、現在地には行政機能を残すとしているが、面積が縮小され本当に機能が残るのか、デジタルに不慣れな方々も少なくないと思うが、今までと変わらない対応ができるのか。

答弁



オンラインサービスを活用しながら、現在の市役所1階で対応している主な手続や相談に対して「できない手続・相談はない」状態を目指し、「鎌倉庁舎」として位置付けることとしている。また、デジタルに不慣れな来庁者に対しても、対面窓口の設置等を行うことで、今までと変わらない対応ができる状態を目指していく。

Q

市庁舎移転予定地は液状化について、再検証したとのことだがその内容と結果を伺う。

答弁



平成23年度に地質調査で「液状化の可能性がない」という結果が出ている。しかし、この結果は、東日本大震災前の設計指針に基づくものであったことから、改めて最新の指針等に基づく検討及び再検証を行ったところ、今後想定される直下型地震による地震動マグニチュード7.5を想定しても液状化による被害発生の可能性はないという判定を確認した。なお、今後の基本設計時にも、実際の建設場所で改めてボーリング調査を実施し、必要な安全対策を検討していく。

住所:鎌倉市腰越3-23-7 連絡先:0467-32-5889

ホームページ:<https://www.hinata-kamakura.com/>

メール:hinata.shingo@gmail.com フェイスブック:日向慎吾

X(旧ツイッター):@HinataShingo インスタグラム:@hinata.shingo



討議資料